



富山、那須、プールなど夏の体験を学習に生かそう

校長 手代木 英明

今年の夏休みは梅雨のような天気が続きましたが、今頃になって猛暑になっています。クマゼミ、ミンミンゼミ、アブラゼミなど真夏に鳴くゼミと、涼しくなって鳴くツクツクボウシが同じ日に鳴くような自然の昆虫も困惑する陽気の中、子供たちの元気な声が学校に戻ってきました。

この夏のスタート、7月20日(木)「夏期巡回・特別巡回ラジオ体操・みんなの体操会」には、大山公園に約1200人が集まり、元気にラジオ体操をしました。多胡 肇さんの語りと体操指導、アシスタントの清水 沙希さん、吉江 晴菜さん、ピアノ演奏の名川 太郎さんの1秒の狂いもない息の合った進行に感心しました。翌日の21日(金)から30日(日)には、本校校庭で、青少年対策西原地区委員会(会長 福田 博多様)主催の「ラジオ体操」が校庭で行われました。今年も代々木中学校のボランティアの生徒がお手本となり、元気な子供たちがたくさん参加しました。22日(土)～23日(日)には、西原商店会(理事長 西野 英雄様)主催の「にしはら夏祭り」が行われました。西原小PTAの方々も活躍されていました。これらの行事には、多くの子供たちが参加していました。地域の皆様のお陰で、西原の街は子供たちの笑顔でいっぱいになりました。

学校行事としては、プールを7月21日(金)～8月2日(水)、富山臨海学園を7月21日(金)～23日(日)、那須自然体験教室を25日(火)～27日(木)に実施しました。

今年の5年富山臨海学園は、真夏の太陽の下、絶好のコンディションで海水浴ができました。私も5年生の時に岩井臨海学園(富山臨海学園は岩井海水浴場で泳ぎます。)に行きましたが、当時の東京湾はゴミだらけだったことを思い出すと、別のリゾート地に来たように感じました。渋谷区では、現地指導員による「ライフセービング、離岸流」の講習を取り入れています。海で安全に気持ちよく泳げる体験ができたことは、とても有意義だったと思います。



いつも野球をしている大山公園が
ラジオ体操会場に・・・



ライフジャケットを着るとどのぐらい
浮くのか、体験しました。



茶臼岳山頂は、晴れ！気持ちのよい
風が吹いていました。

6年那須自然体験教室は、茶臼岳登山と飯盒炊さん&カレー作りをしました。茶臼岳登山の日は、下界から眺めると梅雨空のようでしたが、雲の中を登っていくと山頂は晴れ。雲の上に立つ貴重な体験ができました。飯盒炊さん&カレー作りは、お米をとぎ、薪に火をつけるところから自分たちの力で行いました。2時間もかけて調理したカレーライス、格別な味がしたはずですよ。

長い夏休み、子供たちはいろいろな体験ができたことでしょう。「本では読んで知っていたはずなのに実際にやってみると上手いれない。」ということは、よくあることです。夏休み明けの授業でも、体験的な活動を多く取り入れて「実感を伴った理解」ができる学習を進めていきたいと思ひます。